



北谷 峰二

◆新型コロナウイルスワクチン接種について

問 ワクチン供給が逼迫しているが本市への影響、接種開始はいつ頃になるのか。

答 供給は非常に厳しい状況。4月12日の週に1箱、4月26日の週に1箱と合わせて2箱が市に供給され高齢者を優先。その中でもクラスター防止の観点から、高齢者施設入所者、施設従事者を優先。速やかに実施したいが具体的な接種開始日は確定できていない。

問 接種を受けられる場所、何時から何時まで受けられるのか。

答 北部ではセラトピア土岐。南部では駄知町、妻木町でそれぞれ一か所。平日午後1時半から午後3時半まで、土・日曜日午前9時から午後4時半までを考慮医師会と調整させて頂いておりまだ決定ではない。もう一つ、これも医師会と調整しているが、個別接種をかりつけ医の先生がおられる場合、身近な医療機関での接種を受けて頂く機会を増やしていきたいと考えている。

問 接種を受けるには。

答 市から接種券を送付する。コールセンターで予約。

※接種をして頂く際に接種券と本人の身分証明書が要る。2回目の予約は1回目の接種会場で予約をする。原則1回目の接種の際に2回目の予約を取り付けてお帰り頂く。

問 副反応が出た場合の対応について。

答 アレルギー等注意を要する方は30分程度待機、その他の方は15分程度待機して頂き、副反応等の症状が出現し緊急対応が必要となった場合、会場で医師、看護師が対応する。

◆ 統合病院について

問 本市に於いて新病院建設候補地や統合病院にする意義等説明がされていない。説明会の実施をされるのか。

答 今定例会に提出した議案に可決を頂いた後実施したいと考えている。

◆ 成人式について

問 ネット配信に変更し実施されたが、成人式は一生に一回。夏頃に実施するという選択は無かったのか。

答 春や夏や秋に延期しても、その時の感染状況が分かりかね確実に実施できるか分からない。式典会場の文化プラザが、天井改修工事の為使用が難しいとの事情により、ウェブ開催と言う形で意見がまとまった。同級生と集まりたい思いを全面的に支援協力して行きたい。

《第1回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



安藤 学

◆ 土岐市の観光アピールについて

問 NHK大河ドラマが終わり、コロナによって予定していた企画が中止となりましたが、今後の予定は。

答 残念ながら予定していた多くの事業は中止となったが、土産品販売所の設置、情報発信については引き続き実施している。

問 観光名所となった場所の整備について妻木城跡、高山城跡への実績は。

答 妻木城跡については、市及び観光協会が妻木城跡屋敷跡前の広場や本城林道、妻木城南登山口駐車場の整備と案内看板の整備等を行った。

高山城跡については、緑の募金緑化推進事業を活用とした、しだれ梅や花桃等の苗木の配布、周辺道路や水道設備等の環境整備を行った。

問 来年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の準備について。

答 内容について承知していないので土岐氏が具体的に関係してくるか分からないのでお答えするのは難しいが、市といったしましても今回「麒麟

がくる」という大河ドラマの経験を生かし、観光協会、関係団体と協力して準備に取り組んで行きたい。

問 美濃焼の振興と活性化について。

答 例年実施している支援事業に加えコロナ対応の支援事業を実施。中小企業販路拡大開拓事業としてECサイトの構築や改修とオンラインで陶器市の開催に対し地域消費喚起事業の支援、新商品開発事業・ウェブ活用講習会・スマホ撮影講習会を開催。

問 窯元へのHP作成支援とウェブ活用講習会の実績は。

答 HPの新規構築は7件、改修が5件。ウェブ活用講習会は21社28名参加。

問 ウェブを活用した美濃焼認知度向上についてのPRは。

答 土岐美濃焼のブランドサイトを作りコンテンツの充実を図り、サイトを訪れた方がふるさと納税が出来るようにした。

問 美濃焼伝統工芸士への支援について今までの内容と今後支援する内容。

答 伝統工芸関連補助事業で美濃焼伝統工芸品まつりと伝統工芸士発掘事業に対する補助金の交付です。

● 県の補助金でHPを作られています販売に繋がっていないので、ふるさと納税サイトへのリンクをして、伝統工芸士のコーナー作りと作陶教室の費用をふるさと納税返礼品に入れる事を提案します。



● 小栗 恒雄 ●

◆コロナ禍市政はきめ細かな対応を
問市内の生活保護の受給者数及び最
低生活基準額についてご答弁下さい。

答土岐市の生活保護の受給者数は、令和3年2月で169世帯の194人という数でございます。また生活保護の基準額は、国により定められており、要保護者の年齢別、世帯構成別、所在地別、その他保護の種類に応じて必要な事情を考慮した最低限度の生活の需要を満たすのに十分なものということで非常に複雑になっています。一概に最低生活費が幾らということはお答えしにくいわけですが、一例として申し上げますと、65歳の高齢者の単身世帯で申し上げますと、月の生活扶助基準額は6万9千530円になっており、住宅扶助は3万2千200円という基準額になってございます。

問生活扶助基準以下の世帯で、実際に生活保護を受給されている世帯は二割程度で、残る約八割の世帯で申請を諦めている現状があります。その原因の一つに扶養照会という手続

きがあり、自分の窮地を親族に知られたくないという理由で生活保護の申請をためらう人も多いようです。国も生活保護は国民の権利であると説明しており、厚労省は扶養照会は弾力的に運用するよう自治体へ通知を出しています。土岐市の扶養照会はどうのように対応されていますか。

答扶養に関する調査については、扶養義務者の存否の確認から始めまして、要保護者等から聞き取りにより扶養の可能性の調査します。その結果、扶養義務の履行ができないと判断した場合には、個別慎重に検討を行った上で、直接照会することが審議適当でない場合、または扶養の可能性が期待できないものは、扶養照会を行わないものとしています。また今の時代や実態に沿った形で実施要項が見直されてございまして、十年程度音信不通、当該扶養義務者に借金を重ねている、当該扶養義務者と相続をめぐり対立しているなど著しく関係不良の場合、また夫の暴力から逃れてきた母子、虐待等の経歴がある者等の基準を参考にしながら個別具体的に判断いたしています。

●生活保護は市民の権利です。本当に困った時には、諦める前に市の窓口にご相談してみましょう。そして私達は市民全体で、生活保護に対する意識を変えていく必要があります。

《第1回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 高井由美子 ●

◆マイナンバーカードについて
問マイナンバーカードの普及の現状と取り組みについて。

答令和3年2月1日時点で交付率は17・8%、1万320枚を交付。広報とき、ホームページ、回覧チラシにて普及啓発。毎月最終日曜日及び平日の第1・第2水曜日、第3・第4木曜日の午後7時まで夜間延長し、予約制で交付窓口を開設している。スマートフォン、パソコンによるオンライン申請、支所・公民館での出張申請受付や申請に必要な写真撮影サービスも実施している。

問健康保険証としての利用開始は。

答土岐市立総合病院で3月下旬から、国は令和5年3月末には全ての医療機関等での導入を目指している。

問今後に向けての取り組みは。

答令和4年度中に全住民のカード取得が国の想定目標で、現在計画を策定している。今後も周知を地道にやっていく。

◆ワクチン接種体制について
問新型コロナウイルスワクチン接種会場の確

保と接種のシミュレーション。

答特設会場の集団接種と医療機関での個別接種の併用を考えている。集団接種の会場はセラトピア土岐。シミュレーションは3月5日金曜日セラトピア土岐で高齢者の集団接種を想定した模擬訓練を行った。訓練での課題や問題を整備しながら万全な体制で臨む。

問住民の接種勧奨は。

答接種予診票とクーポンを送付。ワクチンの有効性や取り扱いの注意などご案内する。

問ワクチン接種の相談体制は。

答保健センター内にコールセンターを設置。土・日、祝日を含む毎日午前9時から午後5時まで、一般的な相談に対応。接種後の副反応、医学的知見が必要となる専門的な相談は県の相談窓口をご案内する。



ワクチン接種訓練の様子